

北河原小保護者意見交換会 会議録

- 1 開催日時 令和元年8月18日（日）午後4時～5時30分
- 2 開催場所 北河原公民館ホール
- 3 出席者 保護者12人、北河原小校長・教頭
- 4 教育委員会 荻原学校教育部長、諸貫教育総務課長、白井主幹、須永主幹
久積、嶋田、柏瀬

5 会議内容

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	1 開会
教育総務課長	2 あいさつ
司会	3 見沼中学校区における学校再編成計画及び今後のスケジュールに関する説明
保護者	4 意見等 北河原地区は見沼中学校区でありながら、近い中学校は南河原中である。義務教育学校が開校しても、現在のように南河原中も進学先として選べるのか。
教育総務課長	行田市が南河原村と合併した際に、北河原地区の児童は距離的な問題で、南河原中も選択できるようになった。小学校3校を一緒にし、義務教育学校を作っていくとする中で、教育委員会としては北河原地区の児童には義務教育学校に進学してもらいたいと考えている。弟や妹がいる場合は、保護者としては兄も姉も同じ学校に通わせたいと思うだろう。逆に兄弟関係でこれから学校に上がる子どもがいなくて、南河原中に進学を希望する場合は個別の相談になる。
保護者	原則は選択できないと理解してよいか。
教育総務課長	現在は選択制になっているが、ある時点から学校を選択することを認めないようにしようと考えている。
保護者	家が南河原に近いので、子どもを南河原中に進学させようと考えている。「女の子であること」「部活動で帰りが遅い中、街灯があまりないところを自転車で帰宅すること」などをイメージすると、安全面を考えて南河原中に通わせたいという気持ち強い。

<p>教育総務課長</p>	<p>スクールバスを停留所方式で運行させるとあるが、停留所をどこに設けるのか。また、学年により下校時間がそれぞれ違うので、どのように運行させるのか。</p> <p>再編成するに当たり、スクールバスを運行させることを考えている。前回の再編成のときに出た案は、1回北河原小に集合してスクールバスに乗っていくというものだった。今回の計画では停留所方式を提案し、バスを運行させながら子供たちに乗ってもらおうというものである。登校時刻は一緒なので、運行上問題ないと思うが、下校時刻は高学年と低学年で異なる。小山市に義務教育学校があるが、下校のときは時間を分けて複数回バスを運行させていた。よって、小学生は1回のバスの運行で全ての児童が帰る訳ではない。</p> <p>女の子が自転車通学することは、心配なことだろう。中学生は徒歩または自転車で通学することを原則としているが、地域として街灯がない場所があると思うので、中学生もスクールバスを利用できないか考えている。運行ルート、対象、利用する人数を細かく見ながら検討していく。</p> <p>北河原地区の中で、進学する中学校が距離的な問題で分かれてしまうことは、子供たちを含めた地域活動に支障が出るので、よくないと思う。他の地区でも同様のケースがあり、地域活動がやりづらいとの声が上がっている。</p>
<p>保護者</p>	<p>自分の家は、妻沼のすぐ近くに建っている。義務教育学校が設置されても、距離的な面で自分の子どもを南河原中に進学させたいと思っている。令和4年度に義務教育学校が設置されても、中学校の進学先の選択制を残してほしい。</p> <p>自分は見沼中に通っていたが、すごく遠かった記憶がある。冬場は向かい風で大変だった。そういう思いをしたので、子どもには近い方がいいと思っている。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>それぞれの家庭の子どもの年齢構成にもよると思う。仮に兄弟がいて上の子が南河原中に進学するのであれば、下の子は南河原小に行くことになる。そうすると、地区として義務教育学校に行く子どもと南河原小・中学校に行く子に別れてしまう。そういったことが想定されるので、教育委員会としても悩んでいる。</p>
<p>保護者</p>	<p>「何で南河原小中を含めて再編成しなかったのか」と思ってしまう。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>本当は、南河原地区を含めて再編成したかった。しかし、今回は見沼</p>

	<p>中の校舎を使用し、小学校の部分は少し増設して義務教育学校を設置したいと考えている。そこに南河原小・中学校の児童生徒を入れることは難しい。よって、2段階の再編成となる。まずは、複式学級の解消を図るために、北河原小・荒木小・須加小3校が一緒になり、見沼中の敷地内で小中一貫教育を進めていくことがベストだと思っている。</p>
保護者	<p>交流事業について、今後の回数や内容は決まっているのか。</p>
教育総務課長	<p>今年度の事業について、先生に協力をいただいて実施する時期や内容を計画している。今のところ1学期中に各学年1回の交流を実施することができた。2学期以降も同じように、子ども同士が顔を合わせる機会を作ることをメインにした内容を考えている。再編成まで来年度、再来年度と準備期間があるので、同じ授業を受ける機会を作っていきたいと考えている。来年度の詳しい回数までは決まっていない。</p>
保護者	<p>義務教育学校の内容を初めて聞いた。修業年限が9年間ということなので、入学式が1回、卒業式も1回と理解してよいか。</p>
教育総務課長	<p>そのとおりである。入学式、卒業式という形態はそれぞれ1回である。現在は、小学校の卒業式があるが、小学校の前期課程を修了した段階で、何らかの形で「区切り」を付ける必要があると思っている。学習指導要領があり、小学校の課程、中学校の課程が別々になっているが、「9年間の課程を修了したときに、何ができるようになっているのか」を考えた上で、小学校に入学した時点で勉強してもらうことが小中一貫教育である。小学校の前期課程が修了したという「区切り」を何らかの形で実感してもらわないと、子供たちも間延びすると思う。今までの教育課程だと小学5年生・6年生が学校の最上級生と意識するが、9年間だとまだ上に先輩がいて甘えられるという意識になるので、区切りを付けないといけない。</p>
保護者	<p>体育祭や朝礼などの行事を、小学1年生から中学3年生まで一緒に行うことになるのか。</p>
教育総務課長	<p>行事も内容によって、小学1年生から中学3年生まで一緒に行ってもよいもの、小学生と中学生で分けた方がよいものというように区別していく必要がある。体育祭については、小学生と中学生で体力的に違う面があるが、児童生徒の人数が少ないと、常に競技に出場しなければいけない。1年生から9年生までが一緒に体育祭を実施することで、出番もあ</p>

保護者	<p>り、休憩する時間もあるというメリットもある。しかし、体力面で違いすぎて時間内に終わることができないということであれば、別の実施してもよいと思う。体育祭の実施方法などは、これから検討していく。</p> <p>他の市町村でも事例があるのか。</p>
教育総務課長	<p>平成29年に開校した小山市の義務教育学校を、昨年視察した。今年4月には春日部市で義務教育学校が開校したので、9月に視察する予定である。現場を見て、実際にどんな方法で学校を運営しているのかを確認してくる。</p>
保護者	<p>自分でもインターネットで、義務教育学校について調べようと思う。</p>
保護者	<p>中学校は部活動がある。安全面を考えて、放課後に小学生が校庭で遊ぶことを制限されるのか。また、朝の部活動の練習では、小学生がいると危険ではないかと思う。</p>
教育総務課長	<p>危険がないように配慮していく。放課後に実施する部活動の時間は、小学生は下校しているので重ならないと思う。他の時間帯でも、小学生と中学生がグラウンドを使用することがあると思うので、これから研究していく。</p>
保護者	<p>放課後子ども教室は継続するのか。体育館を使用して活動することもあるので、できなくなってしまうのか。</p>
教育総務課長	<p>見沼中で実施するのか、北河原小に戻ってきて地域の方の協力を得て実施するのか、これから検討していく。</p> <p>学童保育室は、見沼中学校区だと荒木小にある。学童保育室をどこでやるのかなど、再編成後の詳細な事項は専門部会で決定していく。</p>
保護者	<p>現在、自分の子どもが学童保育室を利用している。3年生は2人しかおらず、再編成後、大人数で授業を受けることに戸惑う可能性がある。再編成前から荒木小の学童保育室を利用できれば、顔なじみができて新たな学校での生活もスムーズにできるのではないかと思う。</p>
教育総務課長	<p>再編成の期日より前にできることはやっていきたい。他の学校の保護者から、体操着について再編成後のデザインのものを再編成前に購入して利用してもよいのではないかといった意見もあった。先を見て、でき</p>

	<p>ることがあれば市で相談に乗る。</p>
司会	<p>他の義務教育学校の事例を上げると、部活動は5年生・6年生でも参加することができる。</p>
教育総務課長	<p>試合に出場することは難しいが、中学校でやろうと思っている部活動をスムーズに体験できるというメリットが義務教育学校にはある。</p>
学校教育部次長	<p>中学校体育連盟に所属していないと試合に出場することができない。普段の練習に参加し、中学生と一緒に帰宅するというようになる。</p>
保護者	<p>P T Aは一つの組織として認識してよいか。</p>
教育総務課長	<p>組織として一つの方がやりやすいと思う。P T A行事として小学校と中学校で分けたり、合同でやったりすることがあるので、一体で9年間の中で保護者に協力してもらいたい。運営方法はそれぞれの学校で違うと思うので、P T A部会という専門部会で検討していくことになる。</p>
保護者	<p>北河原小が閉校となることについて、正直どのように思っているか。</p>
保護者	<p>閉校後の活用方法は決まっているのか。</p>
教育総務課長	<p>校舎は耐用年数があるので、すぐに取り壊すことはしない。地域の方の要望を最優先に考えながら、活用方法を検討していく。体育館は避難所になっているので、いざというときに無いと困る施設である。教室にはエアコンが入っているので、今後は避難所としても活用できる。または、日常的に地域の方が集える施設としても活用できる。</p>
保護者	<p>再編成後の学校施設の活用方法については、再編成と平行して検討してもらいたい。1年空けると使いものにならなくなる。</p>
教育総務課長	<p>再編成が終わるまで、学校施設をいじることができない。その後、ある程度の期間で使い始めていかなければならない。</p>
保護者	<p>閉校式もこれから具体的に考えていくのか。</p>
教育総務課長	<p>学校ごとの歴史を伝えられるように閉校式は必要である。</p>

保護者	<p>今後のスケジュールに関して、詳細な事項を決定する時期を随時報告してほしい。例えば、スクールバスでも、中学生でスクールバスが利用できないということが決定すれば、南河原中に進学することを考える方もいると思う。早めに方針を決定してもらい、すぐに公表していただきたい。</p>
教育総務課長	<p>教育委員会で一方的に決めないで、地域や保護者の方と話し合っ決めていく事項もある。現状を把握しながら、随時、皆さんに情報を伝えていく。</p>
保護者	<p>確認だが、南河原中に行けないというのは、決定ではないと理解してよいか。</p>
教育総務課長	<p>決定ではない。教育委員会としては、ある時点で北河原地区の児童が進学する中学校を一本化していきたい。それが、今すぐではないということだ。</p>
保護者	<p>保護者は「再編成はやむを得ない」「北河原小がなくなるのもやむを得ない」と思っている。ただ、どこの中学校に進学するかという問題が残っている。</p>
教育総務課長	<p>中学校の進学先について課題があるのは、北河原地区だけである。須加地区も荒木地区も小学校を卒業すると自動的に見沼中に進学することになっている。</p>
保護者	<p>義務教育学校の視察や事例を通して、デメリットと感ずるところはあったか。</p>
教育総務課長	<p>視察をしてきたが、子供たちが実際に学校生活を送っている様子は見えない。</p> <p>須加地区の保護者からは、小学校から中学校に進学する際、あえて切れ目があった方がよいこともあるのではないかと指摘を受けた。義務教育学校では9年間同じメンバーで過ごすことになるので、人間関係がこじれた場合、環境が変わった方がよいのではという意見があった。その点は、デメリットにつながる可能性がある。</p> <p>クラス替えができれば気分がリフレッシュするが、設置する予定の義務教育学校では、2クラスを編制できる学年もあるが、基本は1クラス編制である。その点で、子供たちの逃げ道を作れないことがデメリット</p>

<p>学校教育部次長</p>	<p>になると思う。しかしながら、小学校から中学校まで切れ目無く先生の目が行き届き、子供たちの状況を把握した上で指導できるので、人間関係がこじれないように配慮することができるのではないかと思う。</p> <p>小学5年生・6年生は現在の見沼中学校の校舎で生活する予定であり、4年生以下は別棟の校舎で生活することになるが、今の小学校の規模より大きくなる。普通教室から特別教室に移動する時間が今までよりもかかるといったことが、小山市の義務教育学校を視察したときに話があった。また、小学校は45分、中学校は50分授業であり、チャイムをどのように鳴らすかイメージつかなかったとのことだ。今は最初だけチャイムを鳴らし、授業の終了時刻でもチャイムは鳴らさずに、時計を見て行動するようだ。小学校、中学校の文化の違いを教員も含めてすり合わせていくことに課題があると思う。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>校長が1人なので、小学生と中学生に対してきめ細かく対応ができるのかと心配する声があった。教頭は2人、子どもの健康状態を見る養護教諭も2人配置することができるので、そういったところで子供たちに配慮することはできる。</p> <p>後は、施設面についてである。現在の中学校は、中学生の体格に合わせて施設が作られている。小学生の体格に合わせた改修などを行って、フォローをしていく必要があると考えている。</p>
<p>学校教育部次長</p>	<p>トイレや蛇口の位置など、小学生の規格に合わせたものを新たな校舎では設置し、子供たちが不安なく生活できるように配慮していく。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>春日部市の義務教育学校も中学校の施設に一部増設しており、私たちが目指している義務教育学校に似ている。今度の視察で実際に支障が出ていることを聞き、お知らせする。</p> <p>基本的に小学校はクラス担任が授業を行い、中学校は教科担任制で今までと変わらない。乗り入れ授業を行う点が、これまでの学校とは違ってくる。来年度から小学校で英語が教科化されるが、義務教育学校であれば、中学校の先生による授業がスムーズにでき、逆に中学生に対して小学校の先生が授業を行うことが、子供たちの安心につながる。</p>
<p>保護者</p>	<p>義務教育学校を1番早く設置したところはどこか。</p>
<p>司会</p>	<p>施設一体型の小中一貫校であれば、広島県の呉市か品川区の可能性が高い。10年くらい前にできている。</p>

教育総務課長	義務教育学校を設置することを制度化したのは、2年前である。
司会	実際に施設一体型の小中一貫教育校で実績があることから、文部科学省でも推進していこうという動きになったのではないかと考える。
保護者	義務教育学校を設置して、学力が向上したといった効果は出ているのか。
教育総務課長	学力が向上したとの報告を受けている。小学校と中学校で切れ目が無いので、「重複して教えている」「中学校で土台がなくて教えてもらう」ということがない。小学校でやるべきことを中学校の先生が知った上で授業を行い、中学校でやる内容を理解した上で小学校の先生が教えるので無駄がなく、振り返りながら授業を行っていくことが学力の向上につながっているようだ。分離型だと成果が出にくいといわれている。施設一体型だからこそ、色々な効果が出ているようだ。
保護者	他の小学校の保護者は、小中一貫教育について賛成しているのか。
教育総務課長	概ね賛成をいただいているが、中には「なぜ小中一貫教育を推進していくのか」と反対する方もいる。
保護者	今までと同じやり方だと保護者の負担が大きい。自分も理解している部分もあるが、もし自分の子どもがいじめられてしまった場合、逃げ道がないのはかわいそうだと思う。北河原小は、児童同士で仲がよく、先生も子供たちの面倒を見てくれている。再編成したときに大人数になって馴染めずに、いじめに遭ってしまった場合、クラス替えができない規模だとすると、再編成しない方がいいのではないかと感じてしまう。
教育総務課長	クラス替えができる規模にするのが最終目標である。そこまで含めて再編成を行うことは、短期的には難しい。優先すべきことは、複式学級を解消することだ。 他の学校の子ども同士が馴染めるように交流事業を行っているが、本当の逃げ道としては、市で行っている通級指導教室「ウィズ」というものがある。中学生になると不登校が増えてくる。学校に行かずに、ウィズに通って勉強し、高校受験をする子どももいる。
保護者	1回いじめられると、ずっと長い期間いじめられる。そうなった場合、9年間はとても長く感じる。わがままを言える環境が変わって、我慢し

教育総務課長	<p>なければいけなくなると、子供たちはストレスを感じるだろう。</p> <p>小学校と中学校が一緒になれば、これまでとは違った目が入る。小学生にとっては中学生がすぐそばにいる。中学生にとってみれば、小学校低学年の児童とも一緒に学校生活を送ることになる。小中一貫教育の研修を行ったときの講師によると、中学校を卒業するころには心が成長するといった面でかなり効果があるとのことだ。本当はクラス替えができればいいのだが。</p>
保護者	<p>クラス替えができれば、苦手な子と別になれるのでいじめ対策にもつながる。</p>
教育総務課長	<p>いじめで、深刻な状況であれば転校することもできる。</p>
保護者	<p>1クラス当たりの人数を制限して、2クラス以上を編制することは可能か。</p>
教育総務課長	<p>1クラスの人数は、国の基準は40人。市では35人としている。その人数を下回って複数のクラスにすることは、法令上できない。子供たちに目が届くように、副担任を置くことは可能である。</p>
保護者	<p>令和7年度以降は、2クラス以上編制できるようになるのか。</p>
教育総務課長	<p>人口の推移を見ると、徐々に規模が小さくなると思う。だからこそ、南河原地区を含めた第2段階の再編成が必要になってくる。そうなれば、2クラス編制が可能になるかもしれないが、そのときの校舎はどこに設置するか検討しなければならない。</p>
保護者	<p>3校それぞれの学校に勤務している先生が、新たな学校に配置されるのか。全く知らない先生が配置されると、子どもは戸惑うのではないかと思う。</p>
学校教育部次長	<p>北河原小、荒木小、須加小の先生数名を新しい学校に配置するように、3年掛けて計画していく。</p>
保護者	<p>体操着は既存のものを使用してよいとのことだが、最終的に統一のものを着るようになるのか。早めにデザインや販売時期を周知してもらえれば、保護者も喜ぶと思う。</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>スクールバスを運行させる範囲として2.5キロメートルを超える地域としているが、実際にどの地域が対象になるのかわからない。</p>
<p>保護者</p>	<p>スクールバスを運行させる範囲は、実際に子供たちが通学するルートを検討しながら考えていこうと思っている。よって、児童がどこに住んでいるかを確認しながら、運行させる地域を検討していく。</p>
<p>保護者</p>	<p>停留所が決定したら、連絡がくるのか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>どこを停留所にするかは、開校準備委員会のメンバーである地域の方や保護者と一緒に検討していく。</p>
<p>保護者</p>	<p>バスの発着時刻も、開校準備委員会で決定するのか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>学校に着く時刻が分かれば逆算できるので、時間については早期に示すことができるだろう。</p>
<p>保護者</p>	<p>開校準備委員会のメンバーは、どのように選出するのか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>地域の方や保護者に入ってもらうため、それぞれ自治会やPTAなどから選出してもらうことを考えている。すでに学校運営協議会のメンバーは、自治会やPTAから選出された方なので、そのまま開校準備委員会のメンバーとして入ってもらうことも可能だ。開校準備委員会で検討した内容は、随時周知していく。</p>
<p>保護者</p>	<p>8月27日に開催する地域協議会は、今回のように意見を交換することがメインなのか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>1回目の地域協議会を7月30日に実施した。その場には、学校運営協議会のメンバーや地域の方、PTAの方などに出席してもらった。その際、令和4年度に見沼中学校区の小中学校を再編成し、義務教育学校を設置してよいか確認したところ賛成の拍手をいただいたが、参加者から「保護者の意見を聞いたのか」という意見が出た。そのため、今回の保護者を対象にした意見交換会を実施したところである。よって、見沼中学校区の小中学校を再編成し、義務教育学校を設置することを皆さんが了承していただければ、その旨を次に開催する地域協議会で報告するつもりである。その後、開校準備委員会を設置し、専門部会を作っていくなど具体的な動きができるようになる。2回目の地域協議会は、意見</p>

保護者	<p>を交換する場ではないと考えている。質問があれば、本日中に積極的にしていただきたい。</p> <p>意見が出尽くした段階で、令和4年度に再編成し、義務教育学校を設置することについて賛成か、反対かを皆さんに聞いてみたいと思っている。</p>
保護者	<p>具体的に決まっていないと思うが、資源回収はどのように行うのか。</p>
教育総務課長	<p>資源回収は、1校でやることになる。地域としてどのように対応すればよいかを、具体的に考えていかなければいけない。</p>
須永主幹	<p>見沼中でPTAの担当をしていた。見沼中での資源回収において、北河原地区は人数がいなかったの、集めていなかった。荒木地区、須加地区の地域の方や保護者に協力してもらって、それぞれのごみ集積所から下中条、武州荒木駅前、見沼中学校に運んでもらった。その方法を拡大して、北河原地区でも同じようなやり方でやっていくのではないかと。小学校、中学校それぞれで行うより再編成して1校で行った方が、保護者の負担は減る。また、全校除草も1カ所になるので、大人数でやれば効率的である。PTA活動は、義務教育学校が設置できれば負担が減るのではないかと予測している。</p>
教育総務課長	<p>保護者の皆さんは、学校の再編成と義務教育学校の設置について賛同していただけるか。賛同していただければ、拍手をしていただきたい。</p>
保護者	<p>(拍手がある中で) 実際に小学生と中学生が義務教育学校で一緒に学校生活を送るわけだが、本当に安全面が確保されるのか、まだ分からない。自分でも義務教育学校について調べてみたいので、まだ賛同できない。</p>
保護者	<p>春日部市の義務教育学校を視察に行くときに、保護者も一緒に行くことはできないか。</p>
保護者	<p>令和4年度に見沼中学校区の小中学校を再編成し、義務教育学校を設置することは確実なのか。</p>
教育総務課長	<p>皆さんから承認を得るタイミングによる。計画の実現に向けて、具体的なスタートが切れていない。3年間で学校を再編成し、義務教育学校を設置するには、そろそろ皆さんの承認を得たいと思っている。仮に、</p>

保護者	<p>秋や冬まで承認が得られずに具体的な動きができないでいると、計画通りにいかなくなる。</p> <p>他の義務教育学校の例を見てデメリットがあれば、私たちは義務教育学校の設置について強く推すことはない。現在、小中一貫教育が全国的に広がっている中で、この取り組みをやらないという選択肢はないと考える。そのことについて、皆さんから答えが出ない状態が続くと次の段階にいく時期も見えてこない。</p> <p>9月に春日部市の義務教育学校を視察するとのことだが、もう少し義務教育学校の資料があってもよかったと思う。小学校を再編成する話と義務教育学校を設置する話はだいぶ違う。小山市の義務教育学校を視察したのであれば、写真などで学校生活の様子を伝えてほしかった。再編成については、もっと早くやってほしいと思っていた。義務教育学校を設置するに当たり、保護者の不安を払拭する努力を行ってほしい。</p>
教育総務課長	<p>保護者は、再編成をしていく必要があるというのは理解していると思う。小中一貫教育については、皆さんに理解してもらえるような努力を行っていく。春日部市に視察に行ったときの学校の様子も、何らかの形で皆さんに報告する。</p>
保護者	<p>荒木小や須加小の保護者の賛同を得たということで間違いはないか。</p>
教育総務課長	<p>荒木小は参加者が少なかったが、PTA会長は出席してもらい、学校の総意として計画を進めていいということをお話してくれた。</p>
保護者	<p>教育委員会の説明を聞いて、全て納得して賛同しているという状態ではないが、北河原地区は人が増える見込みもないし、ある程度的人数で学校生活を送っていくことは難しいと思っている。できれば、早い段階で南河原小や他の学校との再編成をやってほしかった。学校の再編成は早々に進めてほしい。</p>
司会	<p>学校の再編成については、保護者の皆さんはある程度同意をしているが、小中一貫教育については疑問があるので、答えを出すことに保留をしていると理解した。しかし、保護者からの了承を得ないと、これから具体的な事項を決定していくことができない。よって、小中一貫教育についての情報は説明会などを通して随時届けていき、疑問を少しでも解消していくので、計画の実現に向けて動いていくことを了承していただきたい。</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>教育委員会として、小中一貫教育について調べながら推進している。調べている中で、子供たちにさまざまな効果が表れているということが分かってきた。そこは実例を示しながら伝えていく。皆さんが不安を抱えている小中一貫教育や義務教育学校のデメリットを解消しながら、新しい学校を作っていきたい。</p>
<p>学校教育部次長</p>	<p>小山市の義務教育学校での、子供たちの意識調査の結果を伝えたい。開校前は学習面や友人関係に不安を持つ者が多かったが、開校後は多様な人間関係を構築し、友だちが増え学校が楽しいと回答する者が増えたとのことだ。「義務教育学校になってよかったか」という問いに、「よかった」との回答が大半を占めていた。新たな学校が開校される前は不安が大きいですが、開校したら友人が増えて楽しく学校生活を送っている子どもが多いとの説明を受けた。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>こういった実例をお知らせしていく。</p> <p>5 閉会</p>